

平成 16 年度大豆製品の販売・表示等実態調査

報告概要

平成 17 年 3 月

財団法人日本特産農産物協会

調査の目的と方法

(1) 調査の目的

国産大豆は主に豆腐・油揚げ、味噌、納豆等に使われているが、これら大豆製品のうち原料大豆の生産地（国）や商品の表示に消費者の関心が高い豆腐と納豆について、商品の販売状況や表示の実態について明らかにすることを目的とする。

(2) 調査の方法

調査員（当センターが委託した消費者のモニター）が各調査地域の主な販売店舗（スーパーマーケット、デパート等量販店）で、商品形態の異なる全ての豆腐及び納豆を 1 個ずつ購入し、決められた調査票（巻末参照）に記入する。

なお、商品形態の異なる全てのアイテムを 1 個ずつサンプルとして購入しており、出回量に応じたサンプリングでないため、調査結果の構成割合や平均値が実際の店舗での販売状況と異なる場合がある。

(3) 調査の内容

販売状況

- a. 商品名
- b. 量目
- c. 価格
- d. 商品形態
- e. 商品の売場での配置状況（豆腐のみ）

表示実態

- a. 名称（品名）
- b. 原材料
- c. 製造業者（販売者）等の表示状況
- d. 商品の強調表示状況（国産大豆使用の産地・品種名を含む）
- e. 国産大豆シンボルマーク・有機 J A S マークの使用状況

(4) 調査実施期間及び調査地域

調査実施期間

平成16年10月18日(月)～10月31日(日)

調査地域

調査地	調査数	調査地	調査数
札幌	20	金沢	10
仙台	20	大阪	30
東京	30	広島	20
長野	10	松山	10
名古屋	30	福岡	20

サンプル数

豆腐：3,308 商品

納豆：3,000 商品

(5) 留意事項

豆腐の場合

- ・同一店舗の同じ商品名で「きぬ」と「もめん」があれば、両方を購入した。
- ・「焼き豆腐」、「寄せ豆腐」は豆腐に含む。「ごま豆腐」、「玉子豆腐」は、含まない。

納豆の場合

- ・同一店舗の同じ商品名で「大粒」、「中粒」、「小粒」、「極小粒」、「ひきわり」などがあれば、全てを購入した。

スーパー等について

- ・業態別区分のうち、大手スーパーとは、資本金 300 億円以上、店舗数 200 以上、食料品の取り扱いが有り、かつ 5 都市中 4 都市以上に店舗を出店している量販店とした。それ以外のものはその他スーパーとした。

販売価格について

- ・価格は商品に表示してある価格を把握。表示の無い場合は、購入価格を把握。(消費税を含む)

調査結果の概要

(1) 販売状況

1 店舗当たりの購入商品数

1 店舗で消費者が購入した商品数を表 1-1 に示した。豆腐では「15～19 アイテム」が 48.8%、次いで「20 アイテム以上」が 22.9%となっており 10 アイテム以上の品揃えが 9 割を超えている。この調査では多アイテム傾向が強いことが分かる。前年度の調査では「10～14 アイテム」が 32.7%で最も多かった。

納豆についても同様に「15～19 アイテム」が 43.8%、次いで「10～14 アイテム」が 29.4%となっている。

表1 - 1 1店舗当たりの購入商品数

品目	最多	最少	平均	1店舗のアイテム数(単位:店、%)					計
				4以下	5～9	10～14	15～19	20以上	
豆腐(実数)	30	3	16	1	13	43	98	46	201
(割合:%)				0.5	6.5	21.4	48.8	22.9	100.0
納豆(実数)	27	2	15	5	19	59	88	30	201
(割合:%)				2.5	9.5	29.4	43.8	14.9	100.0

1 商品の量目

1 商品の量目について表 1-2 に示した。豆腐では平均 343 g であり「350 g～450 g 未満」が最も多く 36.7%、僅差で「250 g～350 g 未満」が 35.1%となっている。「350 g～450 g 未満」と「250 g～350 g 未満」で 70%を占めており、250 g～450 g 未満に集中している。

納豆は 1 商品の平均量目は 113 g となっている。「80～100 g 未満」が 31.2%で最も多く次いで「120 g～140 g 未満」が 24.6%となっている。

豆腐と納豆の平均量目について、前年度の調査と変化がない。

表1 - 2 1商品の量目

品目	最多	最少	平均	150g 未満	150 ～ 249g	250 ～ 349g	350 ～ 449g	450 ～ 499g	500g 以上	計
豆腐(実数)	1000g	90g	343g	31	454	1162	1215	275	171	3,308
(割合:%)				0.9	13.7	35.1	36.7	8.3	5.2	100.0
品目	最多	最少	平均	60g 未満	60 ～ 79g	80 ～ 99g	100 ～ 119g	120 ～ 139g	140g 以上	計
納豆(実数)	300g	40g	113g	74	64	936	516	739	671	3,000
(割合:%)				2.5	2.1	31.2	17.2	24.6	22.4	100.0

地域別の 100 g 当たりの販売価格

地域別に 100g 当たりの販売価格を示したのが表 1-3 である。平均価格は、豆腐について大阪の 56 円が最も高く、長野の 38 円が最も安かった。

納豆については、平均価格は大阪の 158 円が最も高く、長野の 115 円が最も安かった。

表 1 - 3 地域別の100g当たりの販売価格(税別、円)

地域区分	豆 腐			納 豆		
	最高	最安	平均	最高	最安	平均
札幌	175	12	43	459	33	127
仙台	250	12	42	294	45	120
東京	158	18	53	368	29	146
長野	158	12	38	284	49	115
名古屋	208	7	45	394	50	142
金沢	105	10	43	327	58	132
大阪	357	12	56	473	33	158
広島	138	12	44	399	50	132
松山	128	13	42	394	54	139
福岡	116	7	40	388	34	116
10地域計	-	-	46	-	-	135

業態別の 100g 当たりの販売価格

業態別に 100g 当たりの販売価格を示したものが表 1-4 である。最高価格は、豆腐についてはデパートの 357 円、最低価格は、その他のスーパーの 7 円となっている。納豆についても同様に最高価格は、デパートの 473 円、最低価格は、その他のスーパーの 29 円となっている。

表 1 - 4 業態別の100g当たりの販売価格(税別、円)

業態区分	豆 腐				納 豆			
	最高	最安	平均	サンプル数 (個)	最高	最安	平均	サンプル数 (個)
大手スーパー	175	10	42	553	394	50	130	479
その他スーパー	208	7	44	2,294	459	29	129	2,100
デパート	357	13	67	351	473	45	189	284
生 協	95	10	37	110	275	50	118	137
計	-	-	46	3,308	-	-	135	3,000

(2) 表示状況

名称

J A S 法に基づく加工食品品質表示基準に定められている名称と原材料の表示について

調査した結果は次のとおりである。

豆腐の名称については、表 1-5 のとおりである。「きぬごし豆腐」「もめん豆腐」「充てん豆腐」の順に多く、これら上位 3 つで 75%を占めている。前年度調査では「もめん豆腐」が 26.9%、「きぬごし豆腐」が 26.1%の順であった。

納豆の名称については表 1-6 に示したとおりである。「納豆」という表示が全体の 88%を占めている。これは前年度の調査とほとんど変化がない。

表 1 - 5 豆腐の表示状況

	もめん豆腐	きぬごし豆腐	充てん豆腐	焼き豆腐	よせ豆腐	ざる豆腐	豆腐	おぼろ豆腐	ソフト豆腐	その他	計
実数(個)	937	1010	559	163	194	149	71	85	21	119	3308
割合(%)	28.3	30.5	16.9	4.9	5.9	4.5	2.1	2.6	0.6	3.6	100.0

表 1 - 6 納豆の表示状況

	納豆	有機納豆	ひきわり納豆	有機ひきわり納豆	黒豆納豆	その他	計
実数(個)	2,644	149	114	31	14	48	3,000
割合(%)	88.1	5.0	3.8	1.0	0.5	1.6	100.0

原材料名の表示

豆腐の原材料名の表示については表 1-7 のとおりである。前年度調査では「国産大豆」表示の割合が増加したことが特徴であったが、本年度調査では「国産大豆」表示は 14 年度調査を下回る 17.9%にとどまった。これは 15 年産国産大豆価格の高騰が要因ではないかと推察される。

納豆についても同様に表 1-8 に示した。納豆も「国産大豆」表示が減少していることが分かる。

表 1 - 7 豆腐の原材料名の表示

		大豆	国産大豆	有機大豆	その他	不明	計
16年度	実数(個)	2,400	593	250	34	31	3,308
	割合(%)	72.6	17.9	7.6	1.0	0.9	100.0
15年度割合(%)		64.9	24.8	8.2	1.3	0.8	100.0

表1 - 8 納豆の原材料名の表示

		大豆	国産大豆	有機大豆	ひきわり大豆	黒大豆	その他	計
16年度	実数(個)	2,312	148	173	186	120	61	3,000
	割合(%)	77.1	4.9	5.8	6.2	4.0	2.0	100.0
15年度割合(%)		69.4	12.8	6.9	5.5	4.7	0.7	100.0

(3) 強調表示等

国産大豆シンボルマークの有無

国産大豆を 100%使用した大豆製品のパッケージに表示できる「国産大豆シンボルマーク」の有無についてみたのが表 1-9、表 1-10 である。豆腐と納豆のいずれもシンボルマークがないものが非常に多いが、「マーク有」で見ると豆腐では福岡市地域が多く、納豆では名古屋、札幌地域が多い。

表1 - 9 豆腐の表示状況

地域区分	実数(個)			割合(%)		
	マーク有	マーク無	計	マーク有	マーク無	計
札幌	-	303	303	0.0	100.0	100.0
仙台	9	330	339	2.7	97.3	100.0
東京	17	461	478	3.6	96.4	100.0
長野	-	160	160	0.0	100.0	100.0
名古屋	43	458	501	8.6	91.4	100.0
金沢	12	157	169	7.1	92.9	100.0
大阪	10	446	456	2.2	97.8	100.0
広島	31	315	346	9.0	91.0	100.0
松山	8	196	204	3.9	96.1	100.0
福岡	59	293	352	16.8	83.2	100.0
16年度計	189	3,119	3,308	5.7	94.3	100.0
15年度計	148	3,055	3,203	4.6	95.4	100.0

表1 - 10 納豆の表示状況

地域区分	実数(個)			割合(%)		
	マーク有	マーク無	計	マーク有	マーク無	計
札幌	28	318	346	8.1	91.9	100.0
仙台	19	284	303	6.3	93.7	100.0
東京	11	456	467	2.4	97.6	100.0
長野	1	150	151	0.7	99.3	100.0
名古屋	39	399	438	8.9	91.1	100.0
金沢	2	161	163	1.2	98.8	100.0
大阪	4	335	339	1.2	98.8	100.0
広島	-	306	306	0.0	100.0	100.0
松山	7	145	152	4.6	95.4	100.0
福岡	2	333	335	0.6	99.4	100.0
16年度計	113	2,887	3,000	3.8	96.2	100.0
15年度計	117	2,698	2,815	4.2	95.8	100.0

強調表示等の内容別にみた国産大豆シンボルマークの有無

強調表示の内容別に国産大豆シンボルマークの有無を示したものが表 1-11、1-12 である。豆腐については「国産大豆使用」という強調表示よりも「契約栽培」という強調表示のほうがマークのある割合が高い。

納豆については「国産大豆使用」と強調表示されている場合がもっともマークがある割合が高くなっている。

表1 - 11 豆腐に関する国産大豆シンボルマークの有無(強調表示等の内容別)

強調表示等の内容	延べ数(個)			割合(%)		
	マーク有	マーク無	計	マーク有	マーク無	計
遺伝子組み換え大豆不使用	113	2,061	2,174	5.2	94.8	100.0
国産大豆使用	137	817	954	14.4	85.6	100.0
有機大豆使用	4	169	173	2.3	97.7	100.0
契約栽培大豆使用	13	46	59	22.0	78.0	100.0
無・減・低農薬大豆使用	-	23	23	0.0	100.0	100.0
にがり関係	21	247	268	7.8	92.2	100.0
消泡剤関係	5	78	83	6.0	94.0	100.0
水関係	3	79	82	3.7	96.3	100.0
大豆関係	2	76	78	2.6	97.4	100.0
その他原料関係	5	39	44	11.4	88.6	100.0
製法関係	-	34	34	0.0	100.0	100.0
風味関係	-	23	23	0.0	100.0	100.0
食感関係	-	23	23	0.0	100.0	100.0
名物関係	-	8	8	0.0	100.0	100.0
その他	2	75	77	2.6	97.4	100.0
表示無し	3	223	226	1.3	98.7	100.0
計(注)	308	4,021	4,329	7.1	92.9	100.0

(注)延べ数のため、表1 - 9の割合とは異なる。

表1 - 12 納豆に関する国産大豆シンボルマークの有無(強調表示等の内容別)

強調表示等の内容	延べ数(個)			割合(%)		
	マーク有	マーク無	計	マーク有	マーク無	計
遺伝子組み換え大豆不使用	50	1,795	1,845	2.7	97.3	100.0
国産大豆使用	86	493	579	14.9	85.1	100.0
有機大豆使用	-	139	139	0.0	100.0	100.0
契約栽培大豆使用	8	97	105	7.6	92.4	100.0
無・減・低農薬大豆使用	7	80	87	8.0	92.0	100.0
たれ関係	4	311	315	1.3	98.7	100.0
製法関係	27	212	239	11.3	88.7	100.0
食感関係	2	182	184	1.1	98.9	100.0
風味関係	10	159	169	5.9	94.1	100.0
健康関係	2	159	161	1.2	98.8	100.0
原料関係	10	123	133	7.5	92.5	100.0
賞味期限	6	47	53	11.3	88.7	100.0
その他	27	401	428	6.3	93.7	100.0
表示無し	-	237	237	0.0	100.0	100.0
計(注)	239	4,435	4,674	5.1	94.9	100.0

(注)延べ数のため、表1 - 10の割合とは異なる。

グラフ

図2 - 1 豆腐の1商品当たりの量目(全体平均量目343g)

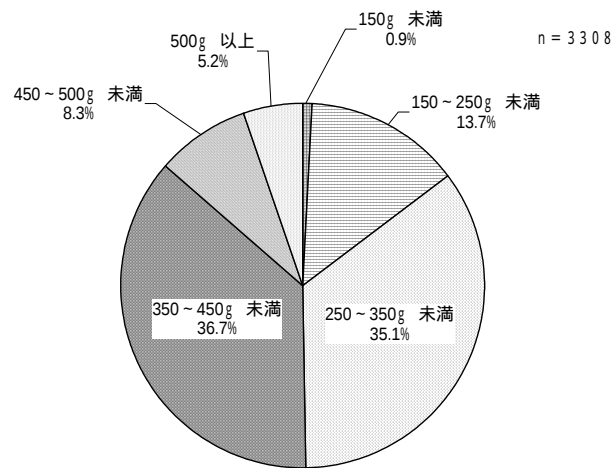


図2 - 3 豆腐の配置状況

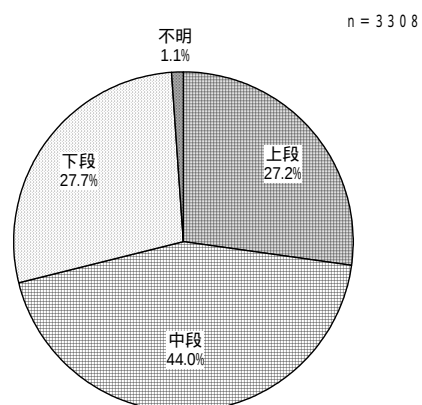


図2 - 4 豆腐の名称

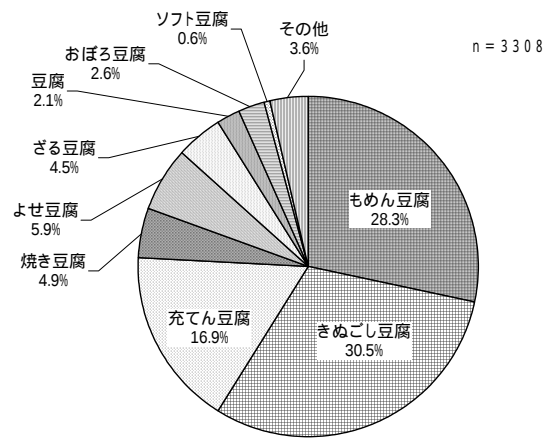


図2 - 5 豆腐の原材料の表示

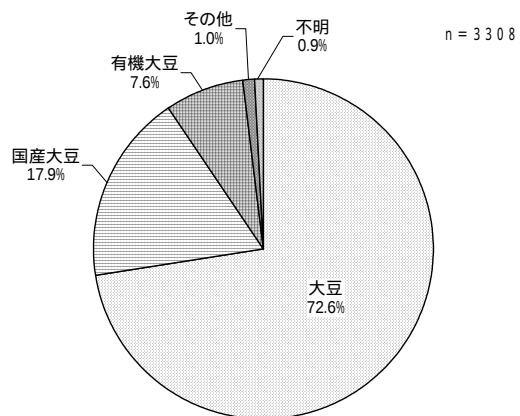


図2 - 6 豆腐の強調表示等

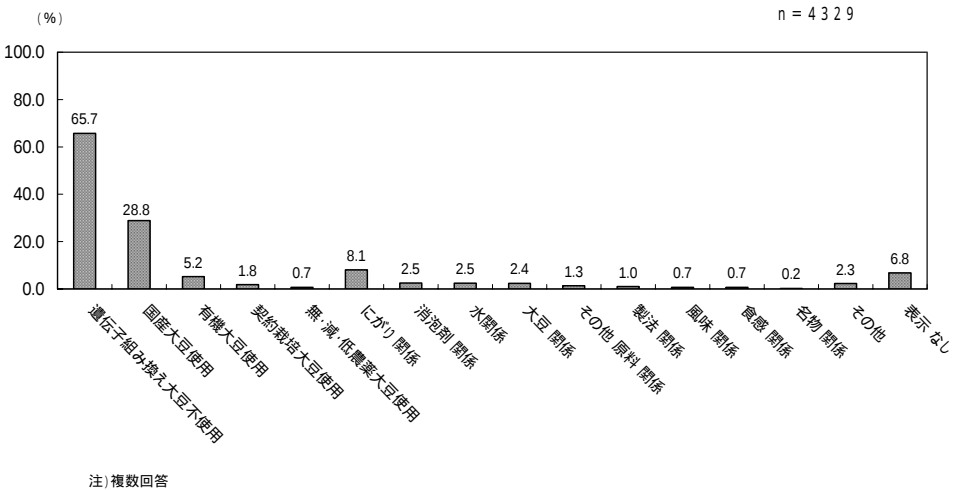


図3 - 1 納豆の1商品当たりの量目(全体平均113g)

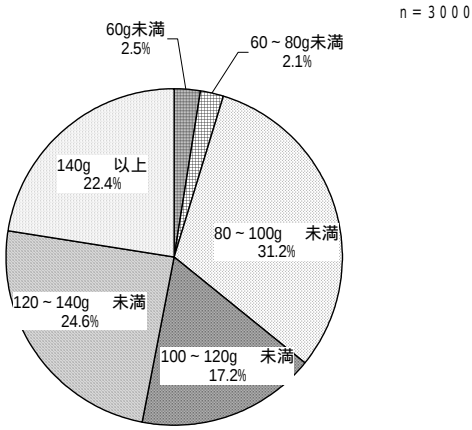


図3 - 2 100g当たりの販売価格

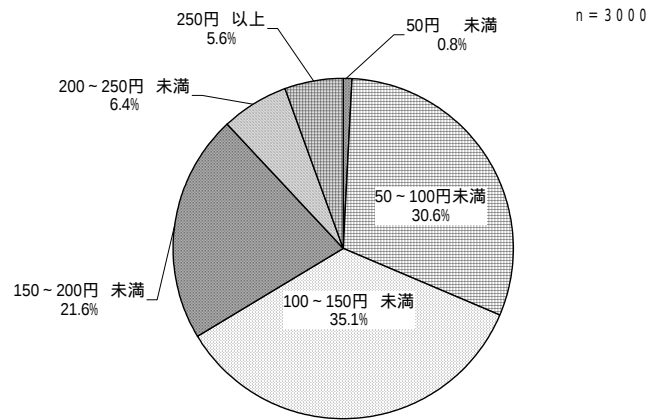


図3 - 3 納豆の商品形態

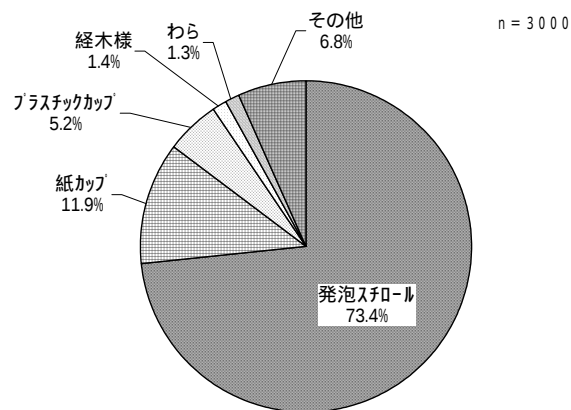


図3 - 4 納豆の名称

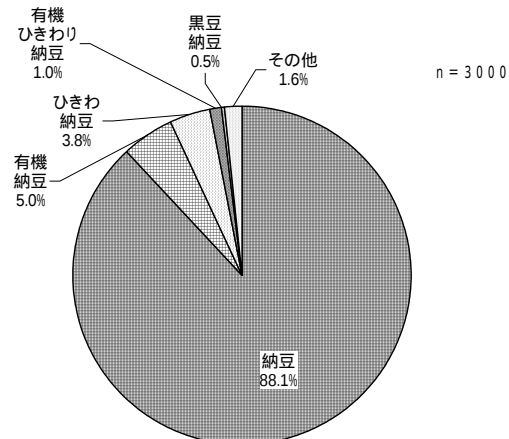


図3 - 5 納豆の原材料の表示

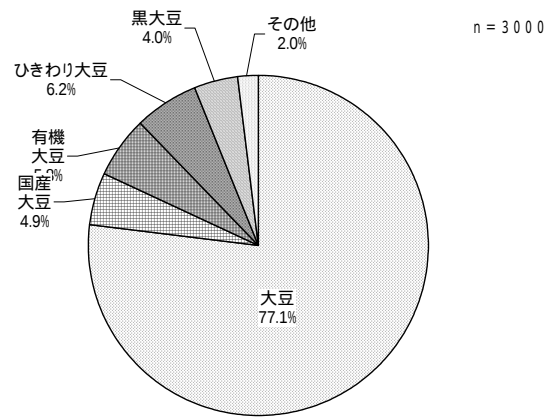


図3 - 6 納豆の強調表示等

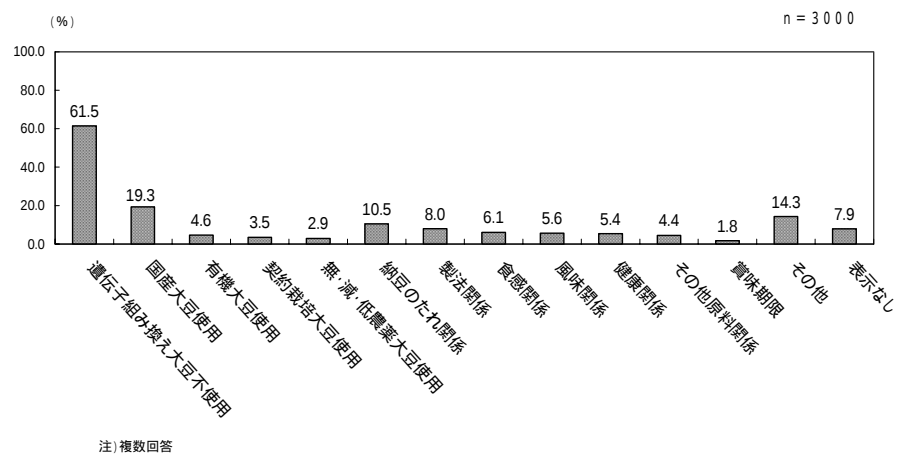


図3 - 7 納豆の粒径表示

